

義太夫

落語

## 英大夫 × 雀松 師弟競演

かつて境内に「御霊文楽」が栄え、芸事好きな人々



が集まった御霊神社(大阪市中央区)の儀式殿で13日、義太夫と落語のコラボ公演が開かれる。豊竹英大夫と桂雀松が、それぞれの語り芸でしるぎを削る。

雀松は英大夫に義太夫を習

床本を手にする豊竹英大夫  
(右)と桂雀松 大阪府

っており、師弟競演でもあつても、声の出し方は教わらない。義太夫を習って発声がない。義太夫になり、小さい声も通るようになった」と雀松。英大夫は「語り芸にはそれぞれクセがあるから、本当は何も知らない白紙の方が教えやすい。だが雀松さんはよく吸収し、上達も早い」と話す。

登場する「住吉駕籠」を演じる。「落語の中の一節だから、浮かぬようあえて本式でなく語ります」と雀松。英大夫は「同根の題材も少くない義太夫と落語、それぞれのファンが楽しめ、新たに観客のすそ野を広げられる公演にしたい」と話している。

出演者に落語作家の小佐田定雄が加わってのトークも。  
午後2時開演、4千円。事務局  
(06・4304・2426)。

(西本ゆか)